

第1回 高知県1漁協構想推進委員会 会議概要

1 日 時 令和元年8月27日(火) 15時～17時15分

2 場 所 高知共済会館「藤」

3 出席者

- (1) 出席委員 崎山委員、武井委員、竹内委員、浦尻委員、横島委員、磯脇委員、岩田委員、安岡委員、田中委員
- (2) 欠席委員 澳本委員、久保委員
- (3) 県出席者 松村副部長、宮本副部長、西山課長、浜渦課長補佐、大河チーフ、岡見
- (4) 取 材 高知新聞、NHK、テレビ高知
- (5) 傍 聴 高知県漁協 米沢専務

4 議事概要

(1) 会長及び副会長の選任

- 浦尻組合長の推薦により、全会一致で安岡委員を会長に選任
- 安岡会長が、澳本組合長を副会長に指名、全員承認

(2) 高知県1漁協の将来像に関する提言

- 事務局より、提言の概要について資料2で説明
- 以下、意見等

<安岡会長> 県が提言の周知を図るという話であったが、その結果を教えて貰いたい。

<西山課長> 市場・事務所の統合については、あくまで機械的な試案であることで概ね理解をいただいたが、地域によっては時期尚早との意見もあった。

<崎山委員> もっと浜の意見を反映したものが必要だったのではないかと思う。

<浦尻委員> 市場統合は相当に大変かと思う。腹を括っていないとできない。

(3) 提言の早期実現に向けた実行計画

- 事務局より、実行計画について資料3、4、参考1で説明

- 各委員から以下の意見が出されたものの、事務局たたき台のとおりで実行計画を承認

<岩本委員> 10月には合併協議会に参加する漁協が大体決まるというイメージか。

<浦尻委員> 例えば、18組合のうち8組合しか参加希望しなかった場合は、この8組合で協議を進めていくということで間違いないか。

<浜渦補佐> 1つでも多くの漁協に参加して貰うため、各漁協の理事会等にも積極的に訪問し、計画等の内容を十分に説明したいと考えている。計画では10月となっているが、説明に時間がかかれば遅れる可能性もある。

<磯脇委員> 県漁協の参画基準を満たさない漁協はどうなるか。

<浜渦補佐> 系統団体や県の指導を受ける中で財務改善に取り組んで貰いたい。

<磯脇委員> そういった漁協の合併は後になるということか。

<西山課長> この3ヶ年には拘らず、将来的には合併できるよう改善を図っていただく。

<安岡会長> 説明の中では参画基準を見直すような話もあったが、どこがどのタイミングで見直すのか。また、どのような内容に見直すのか。

<浜渦補佐> 見直すのであれば、平成20年の基準が基本になると思う。合併協議会での協議結果を県漁協に伝え、県漁協理事会で議論していただくようなことになると思う。

<横島委員> 漁協理事会への説明はどの段階で行うのか。

<浜渦補佐> 意向調査を行った段階で、理事会で説明して欲しいという要望があれば、す

ぐにでもさせていただく。

<田中委員>地元の方々に必要性等をどれだけ理解していただけるかが、今後の肝になる。

理事会のみならず、様々な場で説明を尽くすよう県としても汗をかかせていただく。

<浦尻委員>須崎市場のところで、なぜ、須崎3漁協を合併させるとか、そういったことが謳われていないのか。

<西山課長>須崎は、従前から高岡ブロックの中心的な市場で、周辺の市場との統合も既に進んでいる。今回は新たな統合を伴わないが、拠点市場としての整備を考えている。

<宮本副部長>合併も市場統合もあくまで手段であって、目的は漁協の存続や付加価値の向上である。須崎市場は老朽化も進んでいるので、やはりこれはこれで進めるべきだろうと考えている。

<浦尻委員>合併協議会への参加を理事会で審議すれば相当の漁協が否決すると思う。

<宮本副部長>合併協議会への参加はもう少し幅広に考えている。高い確率で合併するような漁協だけではなく、「話だけでも聞いておきたい」というレベルの漁協にも参加していただければと考えている。

<浦尻委員>県漁連を県漁協に承継させることで、県下の漁協も合併しようかという時期が早く来れば良かったが、ズルズル来たためにこうなったかもしれない。合併の雰囲気高めずにいきなり理事会に諮るというのを見たときに、これは終わると思った。どうして県はこんなに早く進めたいのか。水産改革の影響か。

<宮本副部長>一番のきっかけは、県漁協が繰欠を解消したこと。それと、水産改革も見ようによっては厳しい内容であり、このような状況の中で漁協のあり方をもう一度考えていただきたいという思いもある。

<浦尻委員>県漁協が繰欠を解消したと言うが、これから厳しくなることも考えられる。

<浜渦補佐>もうすぐ最新のセンサスが公表されるが、就業者数の減少がかなり深刻であると聞いている。提言は個別漁協の状況が見えないため、あまり響かない部分もあるのではと感じている。地域に説明に伺う際には、漁協ごとのデータを用いて説明し、危機感を持っていただくとともに、適切な判断をしていただきたいと考えている。

<浦尻委員>それは県としての意見。すくも湾漁協の組合長としては、宿毛湾の漁民の生活を如何に安定させるかということが一番。

<竹内委員>漁協の将来を考える上で大事なことは、財務もあるが、就業者数の問題が大きいと思う。最新のセンサスを用いてこれからの就業者数等のシュミレーションを県でもらいたい。それをこの委員会や各漁協に示して貰いたい。

あくまで吸収合併なので、参画基準は協議会や県が議論するものではなく、あくまで県漁協が議論するものだろうと思うし、そうしないとおかしくなる。

実行計画は粛々と進めていくべきだが、要は、各漁協の理事会が前を向くか向かないかが合併の一番のポイント。そのためには、理事会に足繁く通うことが重要であり、そういうことを実行計画に書くべきではないかと思う。

須崎について、あくまで市場統合の実行計画というのであれば、周辺の市場をどうやって統合するかを書くべきではないか。

<宮本副部長>市場統合の件については、地元合意があるところから着手するという事なので、実行計画にいきなりどこどこを廃止すると書くことは如何なものかと思う。

合併の肝は理事会だと思うが、何回理事会に行くとか言うことを実行計画に書き込むのは難しい部分もある。ただ、理事会が肝であることは重々承知している。

センサスについては、公表され次第整理させていただく。

<武井委員>県は本当にこの期間内にやる気なのかなと疑問に思う。浜の意見を聞く限り

- では、現状で合併に向けて取り組むというのはなかなか難しいと思う。
- <浜渦補佐> 県も厳しいという認識は持っている。一応令和3年4月1日を目標にしているが、各漁協の理事会等に十分な説明をしていく上では、遅れる可能性もある。
- <崎山委員> 合併については県が相当に汗をかかないといけない。もう少し長いスパンで考えてもいいのではないか。
- <安岡会長> 9月には参加意向調査をするとあるが、仮に結果が厳しいものであれば、後のスケジュールが全て遅れるという認識で良いか。
- <西山課長> 各漁協への説明に時間を要するのであれば、このスケジュールが後ろにこけることもあり得る。
- <浦尻組合長> 見切り発車でも仕方ないという話ではなかったか。令和3年度までにやらなければならない理由があるのではないのか。
- <西山課長> ズルズルと引き摺るつもりはない。3ヶ年重点的にやる中で令和3年度当初を目標にしているが、説明等に時間を要するのであれば、集中推進期間の中で精一杯の取組をした結果、令和4年度に遅れる可能性もある。
- <宮本副部長> 極端な話が、合併協議会に参加意向の漁協がゼロという可能性もある。そうなれば、もっと足繁く理事会に通って説明を行い、1つでも多くの漁協が協議会に参加してくれるような取組はやらなければならないと考えている。その結果として全体が遅れる可能性はある。
- <安岡会長> この取組の結果、すくも湾漁協が合併しなければ正直意味がないと感じている。すくも湾漁協にこちらを向いてもらえるよう、県には頑張ってもらいたい。
- <浦尻委員> すくも湾漁協の理事会は、この委員会に参加することすら全員反対だった。合併の話をしていく中で、手数料率を下げるとか、メリットとかが見えてくればいいが、県漁協は市場統合もしておらず、これからも大変な状況になる。すくも湾がそこに巻き込まれるかということ、それは難しい。これだけの材料で合併してくれ、というのは無理。18のうち8だけで粛々とやるのであればやれば良いと思う。県漁協の決意もなければ進まない。不安がいっぱいある。これでは絶対に否決される。

(4) 令和元年度アクションプラン

- 事務局より、アクションプランについて資料5、参考2で説明
- 意見等なく、事務局たたき台のとおりでアクションプランを承認